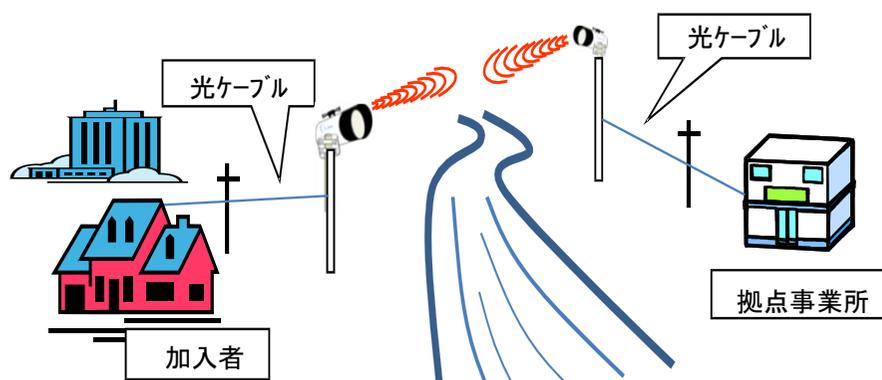


情報通信審議会答申の概要

「80GHz帯高速無線伝送システムの技術的条件」

80GHz帯高速無線伝送システムの概要

- 1Gbps以上の伝送速度を持つ対向型無線通信システム。河川・鉄道・入江等の横断、島しょ・山間地域等の光ケーブルの敷設が困難な場合の補間や応急代替に利用（2km程度までの伝送を想定）
- 高精細映像等の伝送用として使用する場合、低遅延伝送が可能



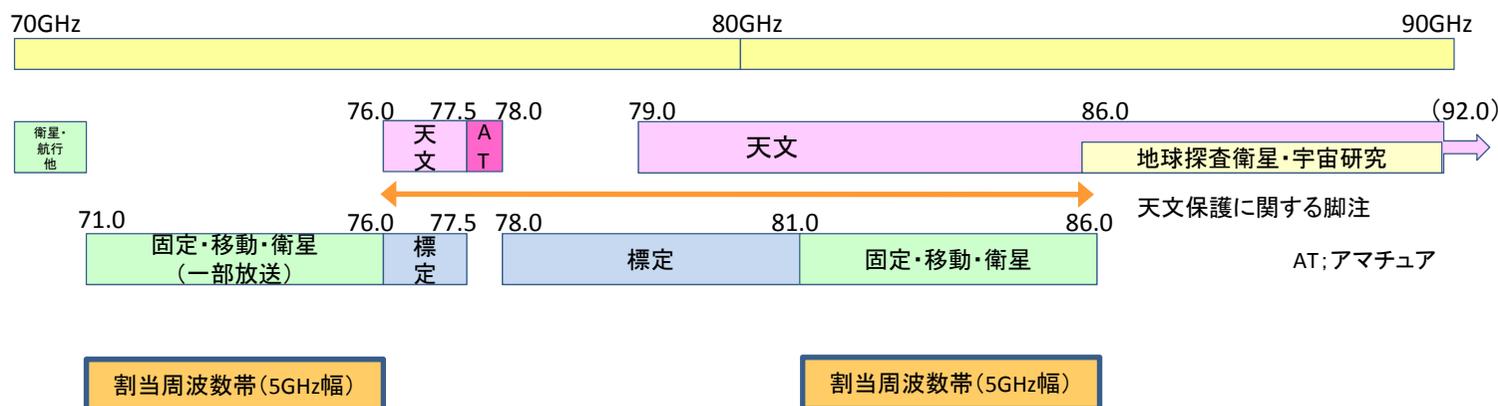
【光ケーブルの補間利用(河川上の中継)】



【野外イベント等における遅延のない中継回線】

技術的条件の概要

- 80GHz帯の5GHz×2(71GHz～76GHz及び81GHz～86GHz)の周波数帯を利用
- 最大電力1W、最大5GHz幅の指定周波数帯方式により割当て
- 周波数が高い帯域の測定が困難なことから、スプリアスについてフィルタ特性で代替する等、簡易な測定法も導入



主要な技術的条件

区分	内容	備考
周波数帯	71GHz～76GHz / 81GHz～86GHz	
空中線電力	最大1W(尖頭電力)	
変調方式	規定しない	
占有帯域幅	5GHz(指定周波数帯による)	
スプリアス等	不要発射にて規定 (帯域外領域100μW/MHz、スプリアス領域50μW/MHz)	簡易な測定法も導入
その他	電波天文受信施設の近傍においては運用に当たって調整を実施	